

大学コンソーシアム富山 令和7年度「現代社会と人間Ⅱ」実施報告

事業名	単位互換 共同科目 現代社会と人間Ⅱ
実施機関名 ／担当教員(所属・ 職氏名)	富山短期大学 担当教員：食物栄養学科 大森聡准教授
趣旨・目的	「食と健康」、「子育てと社会」、「AI 時代の働き方」等を切り口に、本学が蓄積する「食と健康」「保育と子育て」「情報と経営」「福祉と介護」に関する教育・研究の実績を活用し、各講師が専門領域から 現状と課題を分析する。また、富山県内に移住されている方を招聘し、ワークショップを開催することで、受講生が人生 100 年時代を豊かに生き抜くための柔軟で多様なライフプランを構築できるようになることを目指す。
開催日時	令和 7 年 9 月 3 日 (水) 9:10~14:40 4 日 (木) 9:10~12:20 5 日 (金) 9:10~14:40
開催場所	富山ステーションフロント CiC 6 階
参加人数	令和 7 年 9 月 3 日 (水) (学生:12 名 富山大学 5 名、富山県立大学 1 名、富山国際大学 1 名、富山短期大学 5 名、教員:3 名) 令和 7 年 9 月 4 日 (木) (学生:10 名 富山大学 3 名、富山県立大学 1 名、富山国際大学 1 名、富山短期大学 5 名、教員:2 名) 令和 7 年 9 月 5 日 (金) (学生:11 名 富山大学 4 名、富山県立大学 1 名、富山国際大学 1 名、富山短期大学 5 名、教員:2 名)
事業内容	人生 100 年時代の到来が叫ばれる昨今において、従来の教育→就職→定年・引退」という人生モデルが大きく変容しようとしている。本講座は、富山県に在住する若者が地域の魅力を捉えなおし、多様な生き方に触れ、自らのライフシフトを選択していく機会となる基礎講座と位置付ける。 1、8 コマ目担当 富山短期大学 食物栄養学科 准教授 大森聡 2 コマ目担当 とやまのめ 中谷幸葉氏 3 コマ目担当 富山短期大学 経営情報学科 教授 森井泉先仁 4 コマ目担当 富山短期大学 幼児教育学科 5 コマ目担当 考えるパン KOPPE たけぞえあゆみ 6 コマ目担当 富山短期大学 食物栄養学科 元教授 稗苗智恵子 7 コマ目担当 富山短期大学 健康福祉学科 教授 井上理絵

大学コンソーシアム富山 令和7年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和7年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学（担当教員：助重雄久 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	富山の歴史文化や産業・生活などを理解し、富山の今後の地域づくりについて考える。
開催日時	令和7年8月22日(金)、25日(月)～27日(水)の4日間
開催場所	大学コンソーシアム富山 研修室1 (8/22、25) 富山県民会館 304号室 (8/26、27)
参加人数	学生64名 【内訳】・富山大学29名 ・富山県立大学14名 ・富山国際大学9名 ・富山短期大学6名 ・富山高等専門学校6名
事業内容	<p>【令和7年度概要】 今年度の「とやま地域学」は、「富山の自然を未来に活かす」「富山の伝統を未来に繋ぐ」「富山のいまと未来を考える」「富山のまちの歴史を振り返る」の4つのテーマを設定し、富山の魅力を再発見するとともに、今後の地域づくりに活かしていくことを目的に企画・実施しました。 今回の集中講義を通して、富山の魅力を地域・社会に伝えていく人が増えることを願い、来年度も講義を実施していきたいと思っております。</p> <p>【第1日目：8月22日(金)】</p> <p>① 受付（出席確認・資料配布）(9:10～9:30) 学長挨拶 とやま地域学で学んでほしいこと（オンライン） （富山国際大学学長 高木 利久）(9:30～10:00) 授業ガイダンス・日程等に関する説明 （富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久）(10:00～10:40)</p> <p>② 富山の暮らしと豊かな水 （富山国際大学 名誉教授 尾畑 納子 氏）(10:50～12:20)</p> <p>③ 富山のクマ 変化する分布と生態 （富山県立山カルデラ博物館主任学芸員 白石 俊明 氏）(13:10～14:40)</p> <p>④ 立山黒部の自然とその多様性 （富山県立山カルデラ博物館学芸課長 飯田 肇 氏）(14:50～16:20)</p> <p>【第2日目：8月25日(月)】</p> <p>⑤ 祭りと古民家が繋ぐ、人、モノ、文化 （越中祭青年会発起人 五十嵐 友輔 氏）(10:50～12:20)</p> <p>⑥ 城端人として生きる （城端蒔絵十六代 小原 治五右衛門 氏）(13:10～14:40)</p> <p>⑦ 体験型講義 富山の組子 ー組子細工を通じて、地域文化の継承と発展について考えるー （株式会社河島建具専務 河島 亜紀 氏）(14:50～16:20)</p> <p>【第3日目：8月26日(火)】</p> <p>⑧ 知事と語ろう 富山の未来 （富山県知事 新田 八朗 氏）(9:10～10:40)</p>

- ⑨ データから見る富山の生活と産業
(富山国際大学現代社会学部 教授 大谷 友男) (10:50~12:20)
- ⑩ 富山の観光は総力戦!
(富山県観光推進局) (13:10~14:40)
- ⑪ 富山の本気ーファインダーで捉える富山の魅力ー
(写真家 イナガキヤスト 氏) (14:50~16:20)

【第4日目：8月27日(水)】

- ⑫ 富山市街地の歴史をたどる (レクチャー) (9:10~10:40)
- ⑬ 富山市街地の歴史をたどる (フィールドワーク) (10:50~12:20)
- ⑭ 富山市街地の歴史をたどる (グループ発表) (13:10~14:40)
(富山市民芸館館長 坂森 幹浩 氏)
- ⑮ まとめ、課題提出について (14:50~16:20)
(富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久)

1 日目
クマと遭遇した際に被害を最小限にする
行動の実践



2 日目
組子細工の体験



3 日目
富山県知事講義



4 日目
グループ発表



大学コンソーシアム富山 令和7年度共同授業科目
「現代社会と法」実施報告

事業名	<p>大学コンソーシアム富山 令和7年度共同授業科目 「現代社会と法」(自然災害と法)</p>
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 森脇祥弘 教授
趣旨・目的	<p>地域に甚大な爪痕を残した震災からの再建と支援の完遂を未だ見ない中で更に別の災害の注意情報が発出される状況にある現代社会にあって、これまでの災害とその備え・対応・復旧・復興の経験から知見と教訓を汲み取り継承する営為を続ける地域内外の叡智を結集し、法・経済経営を中心とする社会科学の観点から「二寸先」を見通す知見と課題認識の共有へ向けて集中的に学ぶ。</p>
開催日時	令和7年8月25日(月)～8月29日(金)
開催場所	高岡法科大学 ミレニアムホール
参加人数	学生計24名：富山大学(3名)・富山県立大学(1名)・高岡法科大学(20名)
事業内容	<p>第1・2回「天災地変と法－災害復興法学」 講師：銀座パートナーズ法律事務所 弁護士/気象予報士/博士(法学) 岡本 正 氏</p> <p>第3回「東日本大震災－政府の能力が試された」 講師：元復興庁事務次官/市町村職員中央研修所学長 岡本 全勝 氏</p> <div data-bbox="453 1099 817 1370" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">岡本全勝先生の講義風景</p> <p>第4回「自然災害と法－倒産法の視点」 講師：弁護士/慶應義塾大学名誉教授/高岡法科大学客員教授 中島 弘雅 氏</p> <p>第5回「自然災害と法－民法の視点」 講師：弁護士/立教大学名誉教授/高岡法科大学客員教授 角 紀代恵 氏</p> <p>第6回「自然災害と法－企業法務の視点」 講師：弁護士/日本大学教授 [慶應義塾大学特任教授] 高岡法科大学客員教授 菅原 貴与志 氏</p> <div data-bbox="456 1729 820 2045" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">菅原貴与志先生の講義風景</p>

事業内容

第7回「災害から社会を守る 対応の最前線から」

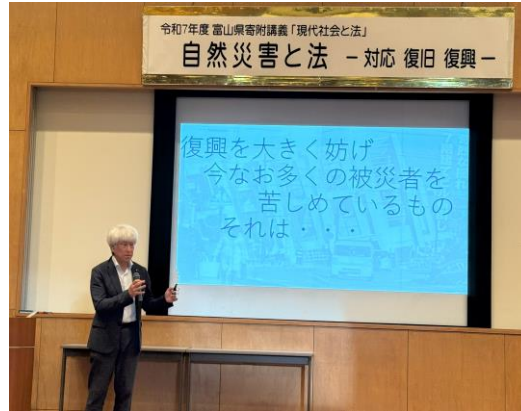
講師：富山県危機管理局局長 中林 昇 氏

第8回「災害から社会を守る 対応の最前線から」

講師：富山県 立山カルデラ砂防博物館長 成瀬 龍也 氏

第9回「災害から社会を守る 対応の最前線から」

講師：厚生連高岡病院看護師長 田畑 智子 氏



平野敏先生の講義風景

第10回「災害支援税制 — 復旧・復興・防災の観点から」

講師：高岡法科大学教授 野口 教子 氏

第11回「自然災害と地域社会」

講師：石川県立輪島高等学校長 平野 敏 氏

聴き手：高岡法科大学教授 八坂 徳明 氏

第12回「自然災害と企業」

講師：興能信用金庫理事長 田代 克弘 氏

聴き手：高岡法科大学教授 森脇 祥弘 氏



パネルディスカッションの風景

第13回「災害の現場から」

講師：石川県危機管理部企画調整室次長 中田 雄士 氏

第14回「災害の現場から」

講師：富山大学教授 原 隆史 氏

第15回「災害の現場から—パネルディスカッション」

氷見市副市長 同日上記二氏 篠田 伸二 氏

石川県危機管理部企画調整室次長 中田 雄士 氏

富山大学教授 原 隆史 氏

司会：本学客員教授 高橋 正樹 氏

以上

大学コンソーシアム富山 令和7年度「航空機入門」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「航空機入門」
実施機関名/ 担当教員	富山県立大学 担当教員：工学部機械システム工学科 坂村 芳孝 教授
趣旨・目的	航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。
開催日時	令和7年8月25日（月） 9時20分～16時30分 8月26日（火） 9時20分～12時30分 8月27日（水） 9時20分～12時30分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室2
参加人数	29名 【内訳】学生：富山県立大学1名、富山大学 13名、富山高等専門学校 4名 一般：4名 教員：6名（外部講師5名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	<p>【8月25日（月）】</p> <p>①飛行の原理（揚力と抗力）（9:20～10:50） 講師：坂村 芳孝（富山県立大学工学部教授）</p> <p>②大空への挑戦（Leonardo から Wright Brothers へ）（11:00～12:30） 講師：戸田 信雄（富山県立大学客員教授・富山県航空宇宙産業アドバイザー）</p> <p>③飛行力学の基礎（13:20～14:50） 講師：坂村 芳孝（富山県立大学工学部教授）</p> <p>④飛行機構造設計 講師：坂川 亨（元三菱重工株式会社 主幹技師）</p> <p>【8月26日（火）】</p> <p>⑤音の壁・熱の壁（超音速流れの研究とその応用）（9:20～10:50） 講師：坂村 芳孝（富山県立大学工学部教授）</p> <p>⑥エアラインにおける航空機の整備（11:00～12:30） 講師：曾原 義博（全日本空輸株式会社 整備センター技術部）</p> <p>【8月28日（水）】</p> <p>⑦航空機部品生産の現場（9:20～10:50） （講師：株式会社石金精機 代表取締役 清水 克洋）</p> <p>⑧宇宙ロケットの基礎（11:00～12:30） 講師：恩河 忠興（三菱重工株式会社 防衛・宇宙セグメント宇宙事業部）</p>

講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和7年度「AIによる人間情報解析」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「AIによる人間情報解析」
実施機関名/ 担当教員	富山県立大学 担当教員：情報工学部データサイエンス学科 高野 博史 教授
趣旨・目的	人工知能 (AI) のしくみ、生体情報の計測や解析に関わる幅広い知識を修得し、人間情報解析と AI の関係について理解を深める。
開催日時	令和7年8月28日(木) 9時40分～17時00分 8月29日(金) 9時40分～17時00分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室2
参加人数	32名 【内訳】学生：富山大学11名、富山県立大学2名、富山国際大学1名、富山短期大学1名、富山高等専門学校7名 一般：4名 教員：5名（講師4名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	<p>【8月28日(木)】</p> <p>①ガイダンス/人間情報計測・解析の基礎 (9:40～11:10) (講師：富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 教授 高野 博史)</p> <p>②AIの仕組み (11:20～12:50) (講師：富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 教授 高野 博史)</p> <p>③手の動きの情報処理とパターン認識 (13:50～15:20) (講師：富山県立大学情報工学部知能ロボット工学科 講師 中井 満)</p> <p>④パターン認識実践 (15:30～17:00) (講師：富山県立大学情報工学部知能ロボット工学科 講師 中井 満)</p> <p>【8月29日(金)】</p> <p>⑤生体個人認証と感情推定技術 (9:40～11:10) (講師：富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 教授 高野 博史)</p> <p>⑥脳情報計測とブレイン・マシン・インターフェース (11:20～12:50) (講師：富山県立大学情報工学部知能ロボット工学科 准教授 森重 健一)</p> <p>⑦デジタル技術によるヒトの見守り・ヘルスケア (13:50～15:20) (講師：富山県立大学情報工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明)</p> <p>⑧AIに基づくヒューマン・センシング技術とその応用 (15:30～17:00) (講師：中京大学工学部 教授 橋本 学)</p>

講義の様子

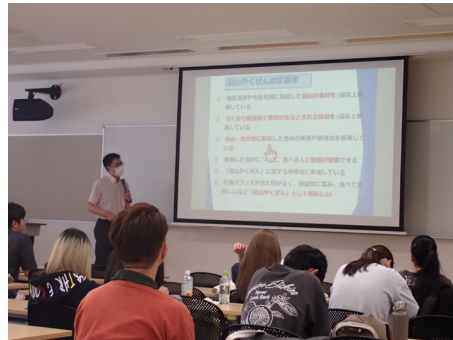


大学コンソーシアム富山 令和7年度「とやまの食文化」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「とやまの食文化」
実施機関名／ 担当教員	富山短期大学（担当教員：食物栄養学科 准教授 中根一恵）
趣旨・目的	富山県に在住していても富山県が「食の宝庫」であることを知らない若者世代が多い。とやまの先人の知恵が育んできた食文化について、地形や自然環境を学習し、健康についての科学的な視点、食体験や実習、外部講師を招聘した講義より、各地域の食文化の成り立ちなどを具体的に知ることで、とやまの食の魅力について考える機会とする。意見交換、意見の発表を通して「今後、とやまの食文化を次世代にどのように伝えていったらよいか」について考え、とやまの食文化への興味関心、理解を深めることを目的とする。
開催日時	令和7年9月2日(火) 9時10分～14時40分 9月3日(水) 9時10分～14時40分 9月4日(木) 9時10分～14時40分
開催場所	場所：富山短期大学 F館205教室、108調理実習室 住所：〒930-0193 富山市願海寺水口444
参加人数	令和7年9月2日(火) 9:10～14:40 (学生13名：富山大学2名、高岡法科大学1名、富山高等専門学校3名、富山短期大学7名、外部講師1名、教員3名) 令和7年9月3日(水) 9:10～14:40 (学生13名：富山大学2名、高岡法科大学1名、富山高等専門学校3名、富山短期大学7名、教員3名) 令和7年9月4日(木) 9:10～14:40 (学生13名：富山大学2名、高岡法科大学1名、富山高等専門学校3名、富山短期大学7名、教員2名)
事業内容	<p>【令和7年9月2日(火)】</p> <p>第1回 ガイダンス (富山短期大学食物栄養学科准教授 中根一恵) 食文化総論 (富山短期大学食物栄養学科准教授 半田彩実)</p> <p>第2回 とやまの食文化総論 (元富山短期大学食物栄養学科教授 稗苗智恵子氏)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right;">講義の様子</p>

第3回 とやまの食と健康

(富山短期大学食物栄養学科准教授 藤田恭輔)



講義の様子

【令和7年9月3日(水)】

第4回 とやまの魚、そのおいしさの秘密と健康性

(富山短期大学食物栄養学科教授 竹内弘幸)

第5, 6回 県東部でのフィールドワーク (KOKO くらべ、生地地域)、
株式会社ウーケ施設見学



フィールドワークの様子

【令和7年9月4日(木)】

第7回 とやまの家庭料理〔調理実習〕

(富山短期大学食物栄養学科准教授 中根一恵)

(富山短期大学食物栄養学科准教授 半田彩実)



示範の様子



調理実習の様子

第8回 ワークショップ



意見交換の様子

大学コンソーシアム富山 令和7年度「機械工学特論（水門の科学）」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和7年度単位互換開講科目 「機械工学特論（水門の科学）」
実施機関名／ 担当教員	富山大学 笹木 亮（工学部工学科機械工学コース教授）
趣旨・目的	立山山麓から流れる豊かな水量により、富山県は多くの一級河川を有し、また富岩運河や松川など、富山県は歴史的に多くの水路。運河を築いてきた「水」と密接に関わってきた特色を持つ。このような河川や運河では多くの水門が利用され、水害対策だけではなく農業や物流、交通にも利用されている。特に富岩運河の中流に建造されて中島閘門は国の指定重要文化財とされ、河川工事だけでなく近代の機械工業技術の隆盛を示す貴重な歴史的技術遺産である。また近年の気候変動において、甚大な被害をもたらす水害が頻発しており、多くの河川を有している富山県への影響は特に大きく、南砺市で発生した水害では人命も失われる事態も起こっている。近年の水害はこれまでの想定を超えるもので、これら河川への対策も喫緊の課題である。この中でも土木と機械技術の粋である水門は富山をはじめ、日本各地に広く活用されている。そこで本講座では水門の製作。施工に携わってきたベテランの企業技術者を講師として、水門の歴史から、最新の技術に至るまで、水門に関わる多くの知識を紹介することで、水門技術が私たちの生活に与える様々な恩恵を広く一般の方へ周知すると共に、理工学系の学生に対して水門技術の面白さを伝えることで、次世代の水門技術者の育成にも繋げることを望んでいる。若い世代の将来、技術者を目指す受講生に、土木と機械が融合したスケールの大きな技術の世界を知って貰いたい。
開催日時	9/1（月） 1～4 限 9/2（火） 1～4 限
開催場所	富山大学（五福キャンパス）
参加人数	学生 34 名 【内訳】 ・富山大学工学部 29 名 ・富山県立大学 2 名 ・高岡法科大学 2 名 ・富山高専 1 名 教員 6 名 【内訳】 ・富山大学 1 名 ・外部講師 5 名
事業内容	本科目は2日間にわたり以下のように実施した。 （1日目）水門の知識 1 限目：

授業ガイダンス（概要説明、講師紹介等），担当：笹木
水門講義全般（災害の状況とインフラ），担当：坂本

2 限目：水門の設計，担当：永森

3 限目：材料関係講義，担当：江目

4 限目：

工場製作関係講義，担当：寺口

現場施工関係講義，担当：今井

講義のまとめ，担当：笹木

（2日目）水門の現場見学

10：00 集合（富山大学総合教育研究棟 G16, 2F, 21 講義室）

10：30 出発（バスで移動）

11：30 宇奈月ダム着

11：45 昼食

13：00 現場見学会説明：ダム内見学・常用洪水吐・だむこんかん

15：00 まとめ

15：30 宇奈月ダム発（バスで移動）

16：30 富山大学五福キャンパス着・解散



図 授業と見学の様子

大学コンソーシアム富山 令和7年度「富山の地域づくり」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「富山の地域づくり」
実施機関名/ 担当教員	富山大学 大西 宏治（富山大学人文学部教授）
趣旨・目的	1. まちづくりが国や地方公共団体によって、多面的に取り組まれていることを理解する。 2. 地域の未来についてデータの基づき考えることができる。
開催日時	令和7年9月3日(水)、4日(木)、5日(金)、6日(土)
開催場所	富山大学五福キャンパス
参加人数	学生 80名 【内訳】 ・富山大学（58名） ・富山高等専門学校（14名） ・富山県立大学（8名）
事業内容	○第1日目（9/3） 第1回 オリエンテーション：まちづくりとは？ 第2回 立山黒部ジオパーク協会の取り組み （安江・都市デザイン学部） 第3回 富山県における農業戦略（富山県農産食品課） 第4回 富山県の農業のこれからを考える（ワークショップ） ○第2日目（9/4） 第5回 富山市の中心市街地活性化の取り組み （富山市まちづくり推進課） 第6回 富山市の公共交通（富山市交通政策課） 第7回 選ばれるまちづくり（富山市広報課） 第8回 富山市の文化芸術振興（富山市文化国際課） ○第3日目（9/5）（富山市スマートシティ推進課） 第9回 富山のこれからを考えるワークショップ（1） 第10回 富山のこれからを考えるワークショップ（2） 第11回 富山のこれからを考えるワークショップ（3） 第12回 富山のこれからを考えるワークショップ（4） ○第4日目（9/6） 第13回 発表準備 第14回 発表会（1） 第15回 発表会（2）



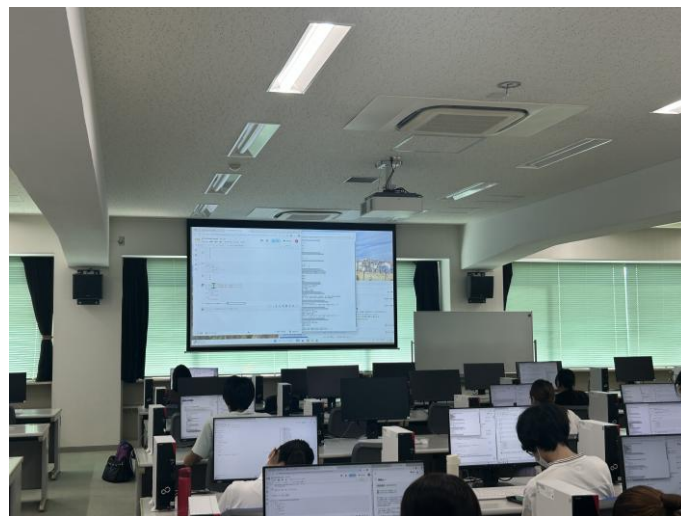
講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和7年度「データサイエンスの実践」実施報告

<p>事業名</p>	<p>単位互換 共同授業科目 「データサイエンスの実践」</p>
<p>実施機関名/ 担当教員</p>	<p>富山大学/ 栗本 猛（非常勤講師）</p>
<p>趣旨・目的</p>	<p>データを利活用するにあたっては、統計、コンピュータを用いたデータ処理、プログラミング基礎等の知識と技術が重要になる。本授業では必修科目である「情報処理」で学んだ IT 技術をベースとして、それをさらに発展させたデータサイエンスの基礎技術を身につけることを目標とする。</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和7年9月3日（水）、4日（木）、5日（金）</p>
<p>開催場所</p>	<p>富山大学五福キャンパス</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生40名 【内訳】 ・富山大学（36名） ・富山県立大学（3名） ・富山国際大学（1名）</p>
<p>事業内容</p>	<p>○第1日目（9/3） 第1回: データサイエンスの概念と表計算ソフトを用いたデータ分析 (平均, 標準偏差, ヒストグラム, 散布図, 相関係数, 回帰直線) 第2回: R によるデータ分析-1 (平均, 標準偏差, ヒストグラム)</p> <p>○第2日目（9/4） 第3回: R によるデータ分析-2 (散布図, 相関係数, 回帰直線) 第4回: R によるデータ分析-3 (主成分分析, クラスタ分析) 第5回: Python によるデータ分析-1 (python の基礎)</p> <p>○第3日目（9/5） 第6回: Python によるデータ分析-2 (代表値, 散布図, 相関係数, ヒートマップ) 第7回: Python によるデータ分析-3 (主成分分析, クラスタ分析) 第8回: 生成系 AI とその利用 (留意事項, 文章生成, 画像生成)</p>

第1回講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和7年度「富山学」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「富山学」
実施機関名/ 担当教員	富山大学 奥 敬一（富山大学芸術文化学部教授）
趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・地域に暮らすひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
開催日時	令和7年9月2日(火)、9日(火)、16日(火)、30日(火)
開催場所	大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室1 五箇山合掌造り集落・立山室堂周辺
参加人数	学生 45名 【内訳】 ・富山大学（39名） ・富山県立大学（6名）
事業内容	<p>○第1日目（9/2）</p> <p>第1回 ガイダンス 講義全体の進め方、フィールドワークについて注意事項、成績評価等についての解説 富山県の基礎情報；統計からみた富山</p> <p>第2回 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ。</p> <p>第3回 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する。</p> <p>○第2日目（9/9）</p> <p>第4回～第7回 立山室堂および弥陀ヶ原でのフィールドワーク（立山の自然と景観を維持するための取り組みについて） 現地講師：環境省 中部山岳国立公園 立山管理官事務所 国立公園管</p>

理官

8:45 富山大学五福キャンパス出発
立山室堂等で4時間程度見学
16:30 富山大学五福キャンパス到着

○第3日目(9/16) 第8回～第11回
庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク(世界遺産を維持するための取り組みと茅刈り体験)～砺波平野散村景観の文化的価値について
現地講師:五箇山自然文化研究会会員

8:45 富山大学五福キャンパス出発
五箇山等で文化遺産維持に関わる体験と見学

16:30 富山大学五福キャンパス到着

○第4日目(9/30)

第12回 ここまでの振り返り
初日の事後学習、および2、3日目のフィールドワークで学んだ内容について振り返る。

第13回 富山の自然と文化(生物多様性)
富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する

第14回 富山の歴史と文化(生活文化の景観)
富山県内の自然環境に育まれた特徴的な生活文化の景観について解説する。

第15回 総括
レポートにもとづくグループディスカッションと「富山学」のまとめ



CiC 研修室での講義の様子



立山現地実習での様子

大学コンソーシアム富山 令和7年度共同授業科目
「実践経営学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和7年度共同授業科目 「実践経営学」
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 八坂徳明 教授
趣旨・目的	経営学の「組織論」「戦略論」を主体に、将来のリーダーの役割を担う人材を育成する。 「組織論」では、社会人基礎力を鍛えて、組織のマネジメントを実践するための学びとリーダーの素養を身に付けるためのリベラルアーツを学ぶ。「戦略論」では、経営計画とPDCAについて、事例研究から学ぶ。
開催日時	令和7年9月1日（月）～9月5日（金）
開催場所	高岡法科大学 B棟1階 101教室 高岡市戸出石代307-3
参加人数	学生計23名：富山大学（2名）・富山県立大学（3名）・富山高等専門学校（3名）・高岡法科大学（15名）
事業内容	<p>第1回 ガイダンスー社会人基礎力とは何か、戦略目標のある生き方、リカレント教育と生涯学習 講師：NPO法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏</p> <p>第2回 実践経営学とは何かー経営学「組織論、戦略論」、事例研究、リーダー育成プログラム 講師：NPO法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏</p> <p>第3回 伝統工芸いものプロジェクト 市民参加の製作と富山県など産官学による世界への発信プロジェクト 講師：富山大学芸術文化学部 客員教授 三船 温尚 氏</p> <div data-bbox="477 1435 842 1749" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">藤田衛治社長の講義風景</p> <p>第4回 リベラルアーツ 講師：NPO法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏</p> <p>第5回 地場産業、伝統工芸、デザイン、研究開発 講師：株式会社能作 代表取締役会長 能作 克治 氏</p> <p>第6回 クリエイティビティとコミュニケーション 講師：コトノオト 代表 上野 賀永子 氏</p>



花木悟氏による講義風景

第7回 ドラッカー マネジメント

講師：NPO 法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏

第8回 アルミニウム・マグネシウムの製品の生産と素材研究開発

講師：三協立山株式会社 常務執行役員 マテリアル社副社長 花木 悟 氏

第9回 キャリアデザイン

講師：大門社会保険労務士事務所 社会保険労務士 大門 充子 氏



大門充子氏によるグループワーク
の講義風景

第10回 企業事例研究 ゴールドウイン

講師：NPO 法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏

第11回 コトラー マーケティング

講師：NPO 法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏

第12回 生産管理理論

講師：三協立山株式会社 元常務執行役員 内嶋 錬一郎 氏

第13回 2024 問題と物流戦略の変化

講師：ST 物流サービス株式会社 代表取締役社長 安居 吉孝 氏

第14回 バーニー 資源ベースの戦略論

講師：NPO 法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏

第15回 実践経営学まとめ

講師：NPO 法人たかおか共創ネット 理事長 藤田 衛治 氏



安居吉孝氏による講義風景

大学コンソーシアム富山 令和7年度「時事的問題」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「時事的問題」
実施機関名/ 担当教員	富山大学 高山 龍太郎（富山大学経済学部教授）
趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界や日本社会が抱える各分野の課題について理解する。 ・ 課題認識と考察を踏まえ、将来自分が何をすべきかを考え、自己認知力を養う。 ・ 学ぶということとは何か、大学在学中に何をすべきかを考えるきっかけを得る。
開催日時	令和7年9月12日(金)、25日(木)、26日(金)、27日(土)
開催場所	富山大学五福キャンパス（9月12日は遠隔授業）
参加人数	<p>学生 98名</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山大学（90名） ・ 富山国際大学（1名） ・ 富山県立大学（3名） ・ 富山短期大学（4名）
事業内容	<p>○9月12日(金)</p> <p>（講師：株式会社 HI イニシアティブ代表取締役、NPO 法人 CeFIL デジタルビジネスイノベーションセンター共同設立者・西野弘、株式会社 トリエス エキスパートコンサルタント・佐藤慎悟）</p> <p>第1回 ガイダンス、授業の目的と期待</p> <p>第2回 現代社会と日本の課題</p> <p>○9月25日(木)</p> <p>（講師：子羊会グループ・朝日ケアコンサルタント（株）取締役ストランドル・グスタフ、佐藤慎悟）</p> <p>第3回 事例から考える世界のダイナミズム 外部講師参加</p> <p>第4回 学生参加型討論</p> <p>第5回 スウェーデンの福祉国家モデル</p> <p>○9月26日(金)</p> <p>（講師：本多達也、西野弘、佐藤慎悟）</p> <p>第6回 少子高齢社会とその影響</p> <p>第7回 個人と社会の関係性</p> <p>第8回 □コンサルティング業務から見る社会</p> <p>第9回 自己のキャリア形成に必要な事</p>

第10回 SDGs と社会参加(1)

○9月27日(土)

(講師：株式会社ビジネスリファイン代表取締役社長・大野祐子、富
山大学経済学部教授・高山龍太郎、西野弘)

第11回 SDGs と社会参加(2)

第12回 現代社会のデジタル化とその影響

第13回 国際的視野から見た日本

第14回 学生参加型討論

第15回 まとめ



第8回講義風景



第14回学生参加型
討論の様子

大学コンソーシアム富山 令和7年度「富山とくすり」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「富山とくすり」
実施機関名/ 担当教員	富山県立大学 担当教員：工学部医薬品工学科 中島 範行 教授
趣旨・目的	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤形、DDS、作用機序等）について理解を深める。
開催日時	令和7年9月24日（水）9時40分～17時00分 9月25日（木）9時40分～17時00分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1
参加人数	18名 【内訳】学生：富山大学2名、富山県立大学6名、高岡法科大学1名、 富山国際大学1名 教員：7名（講師6名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	<p>【9月24日（水）】</p> <p>①ガイダンス/くすりの富山県（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 中島 範行）</p> <p>②有機化学でくすりをつくる（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 小山 靖人）</p> <p>③細胞とくすり（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 准教授 安田 佳織）</p> <p>④遺伝子とくすり（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 准教授 古澤 之裕）</p> <p>【9月25日（木）】</p> <p>⑤抗体とくすり（9：40～11：10） （講師：富山県立大学寄附講座 教授 上野 浩尚）</p> <p>⑥くすりと分析（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 中島 範行）</p> <p>⑦バイオ医薬品の製造と開発（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 准教授 河西 文武）</p> <p>⑧医療デバイスと微細加工（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 竹井 敏）</p>

講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和7年度「教養特別講座」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和7年度共同授業科目「教養特別講座」
実施機関	富山国際大学（担当教員：大谷孝行 富山国際大学名誉教授）
趣旨・目的	本講座では人間の笑いを様々な側面から考察し、笑いの特徴や奥深さについて理解するとともに、ままならぬ人生を前向きに前進する力を身につける。
開催日時	令和8年2月24日(火)・25日(水)・26日(木)・27日(金)の4日間
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1
参加人数	学生44名 【内訳】・富山大学36名・富山県立大学3名・高岡法科大学1名・富山国際大学4名
事業内容	<p>【令和7年度概要】</p> <p>今年度の教養特別講座は、計15回の講義を通して笑いの理論・漫才・落語などを楽しみながら学ぶことを目的に実施いたしました。講義はコーディネータをはじめ、情報・国際・福祉関係の教員が担当し、笑いを様々な分野から見ることで幅広い知識を身につけることができました。</p> <p>講義終了後のアンケートでは、総合評価4.4（5点満点）と高い評価になりました。次回以降の講義も多くに満足してもらえるような講義をしていけるよう教職員一丸となり力を込めていきたいと思っております。</p> <p>【第1日目：2月24日(火)】 （講師：富山国際大学 名誉教授 大谷孝行）</p> <p>① オリエンテーション、笑いを「笑いの理論」から理解する（9:10～10:40） ② 日本の芸能の理解を深める(1)（10:50～12:20） ③ 日本の芸能の理解を深める(2)（13:10～14:40） ④ 二元結合としての笑い（14:50～16:20）</p> <p>【第2日目：2月25日(水)】 （講師：富山国際大学 名誉教授 大谷孝行）</p> <p>⑤ 日本の芸能の理解を深める(3)（9:10～10:40） ⑥ 大阪の笑いについて学ぶ（10:50～12:20） ⑦ 映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(1)（13:10～14:40） ⑧ 映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(2)（14:50～16:20）</p> <p>【第3日目：2月26日(木)】</p> <p>⑨ 様々な学問分野から笑いを考える（1）（9:10～10:40） （講師：富山国際大学現代社会学部准教授 Bogdan PAVLIY）</p> <p>⑩ 人生におけるピンチと笑いについて考える（10:50～12:20） （講師：富山国際大学 名誉教授 大谷孝行）</p> <p>⑪ 様々な学問分野から笑いを考える（2）（13:10～14:40） （講師：富山国際大学子ども育成学部教授 村上満）</p> <p>⑫ 様々な学問分野から笑いを考える（3）（14:50～16:20） （講師：富山国際大学現代社会学部教授 豊岡理人）</p>

【第4日目：2月27日(金)】

(講師：富山国際大学 名誉教授 大谷孝行)

⑬川柳に親しむ (9:10～10:40)

⑭「老いと笑い」について考える (10:50～12:20)

⑮「幸福と笑い」について考える (13:10～14:40)



(富山国際大学 名誉教授 大谷孝行)



(富山国際大学現代社会学部准教授

Bogdan PAVLIY)

(富山国際大学現代社会学部 教授 豊岡理人)



(富山国際大学子ども育成学部教授 村上満)

大学コンソーシアム富山 令和7年度「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和7年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」
実施機関名/ 担当教員	富山大学 奥寺 敬（富山大学非常勤講師）
趣旨・目的	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供する。
開催日時	令和8年2月12日（木）、13日（金）、17日（火）、19日（木）
開催場所	富山大学五福キャンパス 富山県危機管理センター 富山県庁周辺
参加人数	学生 60名 【内訳】・富山大学（58名） ・高岡法科大学（1名） ・富山国際大学（1名）

事業内容	2月12日(木)
	第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学 (富山大学非常勤講師 奥寺 敬 氏)
	第2・3回 普通救命講習(AED含む) (富山市消防局)
	2月13日(金)
	第4回 災害時の医療救援活動 (富山大学附属災害・救命センター長 土井 智章 氏)
	第5回 災害ボランティア活動の基本 (災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏)
	第6回 被災地での安全衛生とコミュニケーション (災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・東京 DWAT 宮崎 賢哉 氏)
	第7回 災害時のリーダーシップとチームビルディング (災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・東京 DWAT 宮崎 賢哉 氏)
	2月17日(火)
	第8・9回 富山県の防災対策 富山県危機管理センター見学 (富山県危機管理局防災課 能澤 圭輔 氏)
	第10回 富山県庁周辺散策(能登地震被害の確認等) (特定非営利法人富山県防災士会)
	2月19日(木)
	第11回 災害時に求められるケア (富山大学医学系助教 伊井 みず穂 氏)
	第12回 地形図から災害を予測する (富山大学人文科学系教授 大西 宏治 氏)
	第13回 防災机上訓練 DIG 洪水ハザードマップの活用 (富山大学人文学系教授 大西 宏治 氏)
第14回 自然について学び・深めて災害対策 (富山大学都市デザイン学系准教授 安江 健一 氏)	
第15回 大規模風水害の疑似体験 (富山大学都市デザイン学系准教授 安江 健一 氏)	

第1回講義風景



第2・3回普通救命
講習の様子



第6回グループワー
クの様子

